

2026年3月期 第1四半期 決算説明資料

2025年8月1日

 **ソーダニッカ株式会社** (証券コード：8158)

決算サマリー



- 売上高 : 化学品セグメントの内、エレクトロニクス向けならびに自治体向け無機薬品や日用品業界向けトイレタリー関連商品の受注好調が寄与し増収
- 営業利益 : 成長投資に伴う減価償却費等の諸経費増加等により減益
- 四半期純利益 : 前年同期に計上した投資有価証券売却による特別利益がなく減益

単位：百万円

	2025/3月期 第1四半期	2026/3月期 第1四半期	増減額	増減率
売上高	15,766	16,021	+ 255	+1.6%
売上総利益	2,186	2,283	+ 97	+4.4%
販売費及び一般管理費	1,602	1,856	+ 254	+15.8%
営業利益	584	426	▲ 158	▲ 27.0%
経常利益	751	610	▲ 141	▲ 18.7%
親会社株主に帰属する四半期純利益	968	362	▲ 606	▲ 62.5%

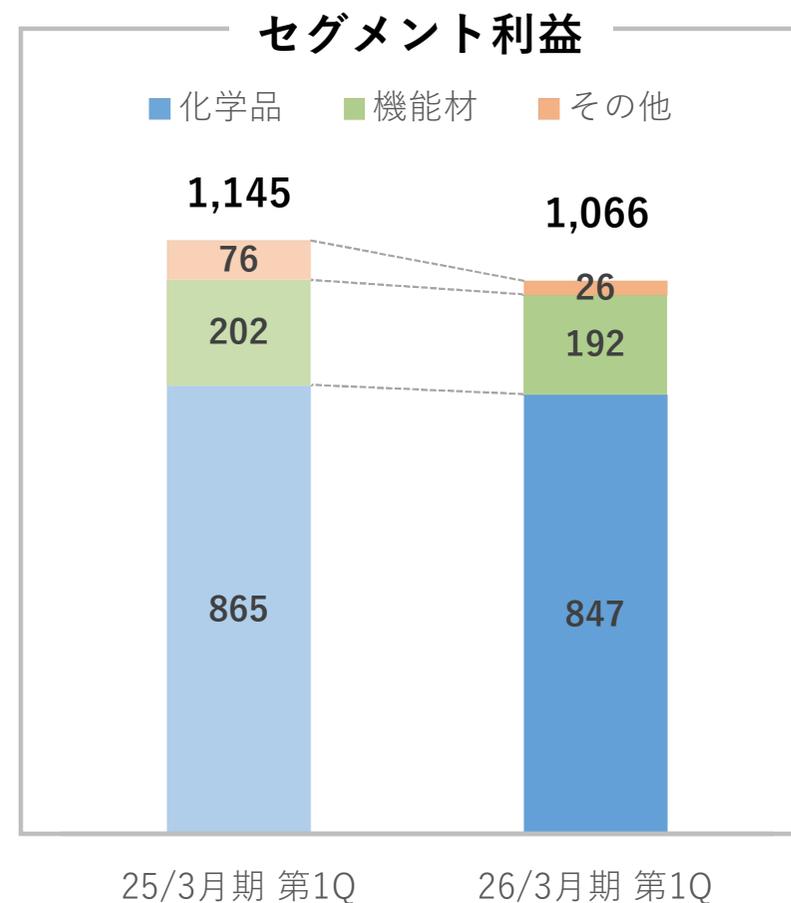
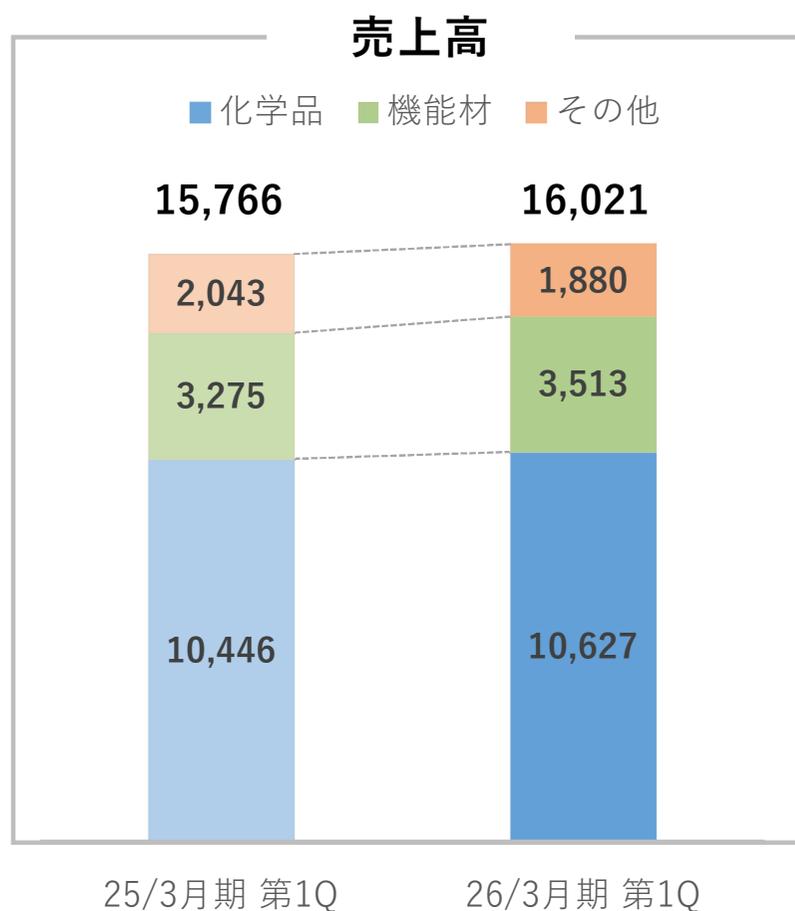
セグメント別 決算サマリー

(単位：百万円)

化学品事業
増収・減益

機能材事業
増収・減益

その他事業
減収・減益



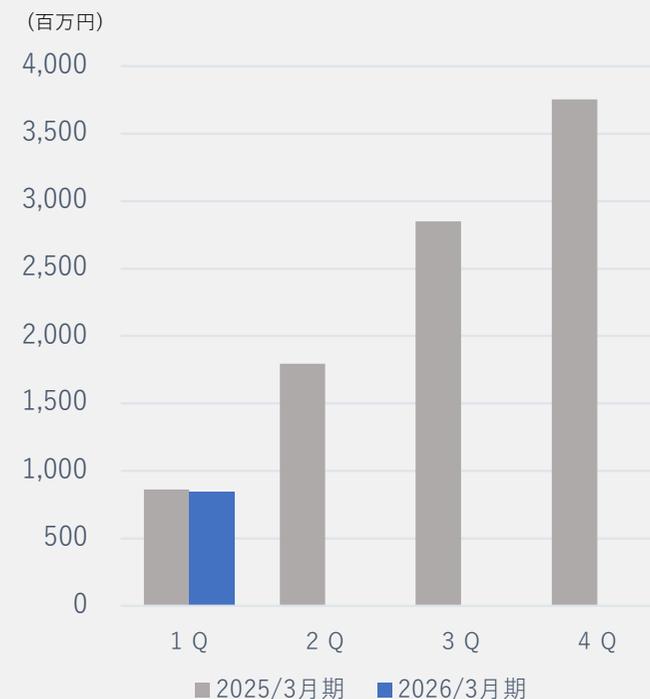
※セグメント利益との合計（1,066）と、営業利益（426）の差額は各報告セグメントに配分していない全社費用であります。

単位：百万円

	2025/3月期 第1四半期	2026/3月期 第1四半期	増減額	増減率
売上高	10,446	10,627	+181	+1.7%
セグメント利益	865	847	▲18	▲2.2%
利益率	8.3%	8.0%	-	-

- ソーダ関連薬品は、主力のか性ソーダでエレクトロニクス業界向けが取引増加の一方、化学業界向けは取引減少。ケイ酸ソーダ類は需要増加により取引増加。炭酸ソーダは日用品業界向けの販売数量減少により取引減少。
- その他の無機薬品は、アルミニウム化合物が自治体向け水処理剤の新規受注により取引増加。
- 有機薬品は、製紙用塗工剤が特需やシェア拡大により取引増加。その他の商品群では、トイレタリー関連商品が日用品・ペット用品向けの受注好調。

【四半期ごとのセグメント利益推移】

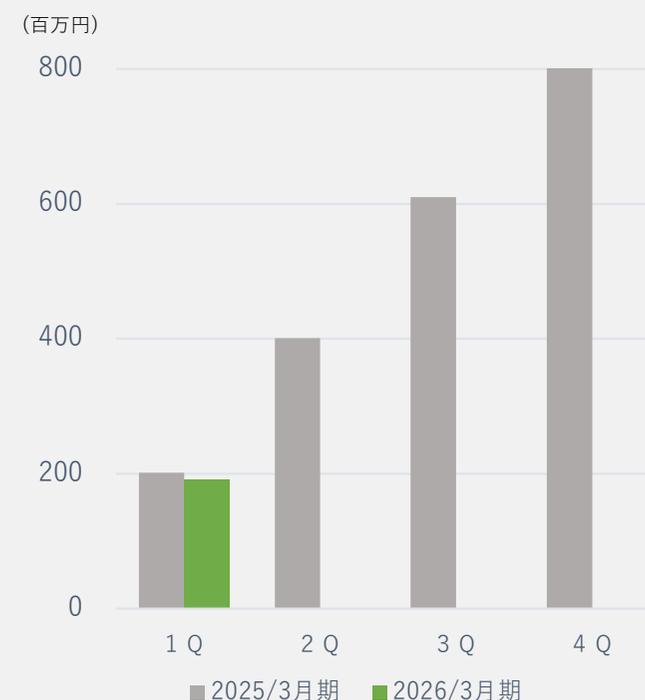


単位：百万円

	2025/3月期 第1四半期	2026/3月期 第1四半期	増減額	増減率
売上高	3,275	3,513	+ 238	+7.3%
セグメント利益	202	192	▲10	▲4.7%
利益率	6.2%	5.5%	-	-

- **包装関連商品**は、包装関連機器が海外向け案件受注により取引増加。一方、ナイロンフィルムは中国向け需要の減少により取引減少。
- **合成樹脂関連商品**は、ガラス短繊維が輸送機器用途での案件減少、タンク類が販売数量減少に伴い取引減少。
- **設備・工事・産業材料**は、排ガス処理装置が取引増加の一方、回転機器は取引減少。

【四半期ごとのセグメント利益推移】



単位：百万円

	2025/3月期 第1四半期	2026/3月期 第1四半期	増減額	増減率
売上高	2,043	1,880	▲163	▲8.0%
セグメント利益	76	26	▲50	▲65.9%
利益率	3.7%	1.4%	-	-

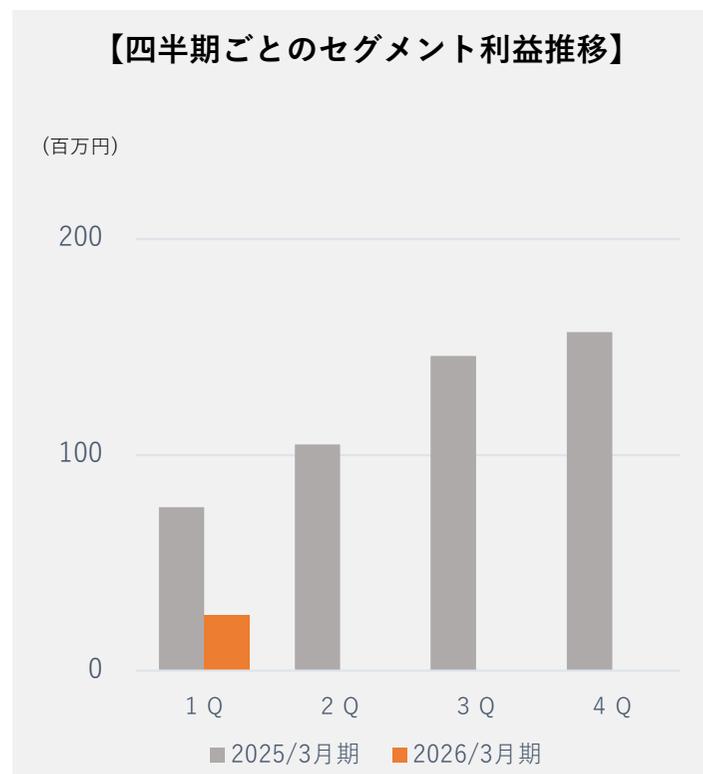
■ 国内連結子会社は、

- ・ (株)野津商店で倉庫修繕に伴う費用が発生。
- ・ (株)日本包装で新本社工場稼働開始に伴う諸経費増加。
- ・ モリス(株)でアルミ商品やカメラアクセサリ商品が出荷増加。

■ 海外連結子会社は、

- ・ インドネシアはフィルム関連商材の受注が減少。
- ・ ベトナムではフィルムの新規案件が進捗途上。
- ・ 中国では主要商材の荷動きが鈍く低調に推移。

【四半期ごとのセグメント利益推移】



連結貸借対照表

単位：百万円

	2025/3月期 期末	2026/3月期 第1四半期	増減額
流動資産	51,247	49,995	△1,252
現金及び預金	7,231	6,530	※① △701
受取手形、売掛金及び契約資産	41,608	41,227	△381
商品及び製品	1,442	1,364	△78
その他	966	873	△93
固定資産	21,952	22,226	+273
有形固定資産	7,135	7,014	△121
無形固定資産	263	281	+18
投資その他の資産	14,553	14,930	※② +376
資産合計	73,200	72,221	△978
流動負債	39,390	38,186	△1,204
支払手形及び買掛金	33,351	32,822	△529
短期借入金	3,165	3,163	△2
その他	2,873	2,200	※③ △673
固定負債	4,274	4,464	+190
負債合計	43,664	42,651	△1,013
株主資本合計	22,880	22,714	△166
その他の包括利益累計額	6,655	6,855	※④ +200
純資産合計	29,535	29,570	+35
負債純資産合計	73,200	72,221	△978

【変動要因】

- 現金及び預金 (※①)
⇒ 配当金、法人税の支払い等により減少
- 投資その他の資産 (※②)
⇒ 保有有価証券の時価評価額上昇により増加
- 流動負債その他 (※③)
⇒ 未払法人税の減少
- その他の包括利益累計額 (※④)
⇒ その他有価証券評価差額金の増加

業績予想を据置。

(営業利益予想について)

第2四半期：第1四半期は販売管理費の増加により若干の進捗遅れも、概ね想定通りの推移見込み。

通 期：期後半に大型設備案件の受注見込み。

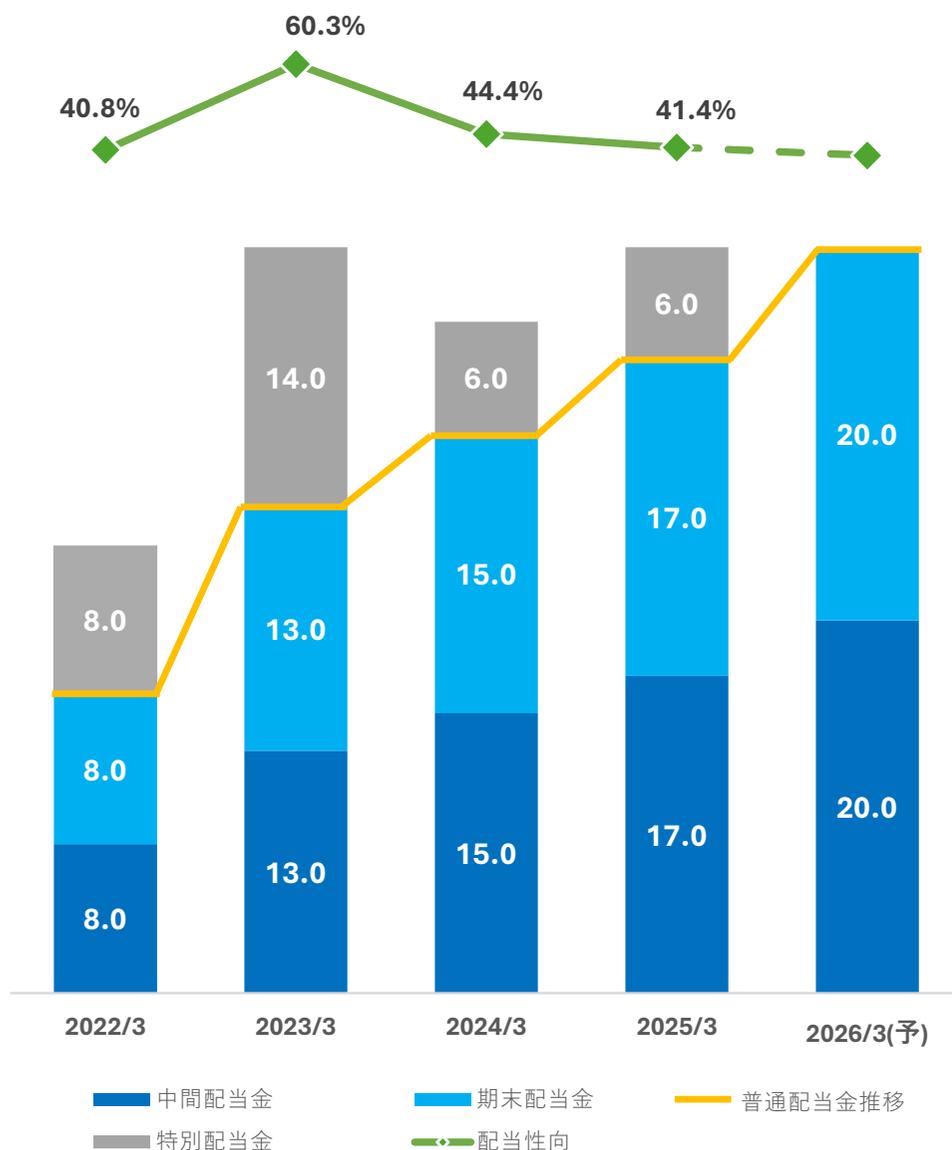
単位：百万円

	第1四半期	第2四半期（累計）		通期		進捗に関する備考
	実績	予想	進捗率	予想	進捗率	
売上高	16,021	32,800 (+3.3%)	48.8%	70,500 (+8.2%)	22.7%	
営業利益	426	1,080 (△4.8%)	39.5%	2,340 (+10.9%)	18.2%	第1四半期は販売管理費増加。 期後半に大型設備案件受注見込み。
経常利益	610	1,250 (△4.5%)	48.9%	2,670 (+7.8%)	22.9%	
親会社株主に帰属する 当期純利益	362	1,090 (△17.7%)	33.3%	2,300 (+4.8%)	15.8%	前年同期は有価証券売却益による 特別利益を計上。 (当第1四半期は売却実績無し)

※括弧内の値は前年同期比

株主還元の様態

1株当たり配当金の推移 (単位：円)



【2025年3月期 配当状況 (再掲)】

- 2025年3月期 年間配当
当初計画の32円から**40円へ増配**

【2026年3月期 配当予想】

- **変更なし**
- 2026年3月期は普通配当として、
中間/期末 共に**20円の配当**を予想

【株主還元方針】

中期経営計画「Go forward STAGE3」の期間中
において**配当性向40%以上**の定常化

免責事項

本資料の内、業績見通し等は、現在入手可能な情報による判断及び仮定に基づいたものであり、判断や仮定に内在する不確定性及び今後の事業運営や内外の状況変化等による変動可能性に照らし、実際の業績等が目標と大きく異なる結果となる可能性があります。

お問い合わせ先



経営企画・IR部

✉ sn-ir@sodanikka.co.jp

<https://www.sodanikka.co.jp>